朴委員からの質問及び回答②

資料２－３－２

|  |
| --- |
| [施策名]  Ⅰ４（3）「公立学校への外国人子女の受入れ体制の整備」  [上記資料のページ番号]  　　P.30 |
| [質問内容]  　施策を進める上で実態の把握と現状の分析は重要な出発点と考えられます。昨年も質問しましたが、府内の公立学校での本名での在学率はどれくらいか？（励ます資料として考えたい。）（多い国の順に3番目位まで） |
| [回答]  平成27年度の市町村の小中学校（政令市は除く）及び府立高等学校で学んでいる外国人児童生徒の本名使用率は、以下のとおりである。  （％）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 国籍 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | | 中国 | 48.3 | 47.0 | 58.6 | | 韓国・朝鮮 | 21.4 | 22.6 | 28.0 | | 外国籍全体 | 48.3 | 43.9 | 44.2 |   ※　小・中学校は、市町村からのヒアリングによる。  ※　高等学校については、全日制課程および定時制課程を合わせた値。 |